

4章

資産配分の決定

運用の力ギは資産配分

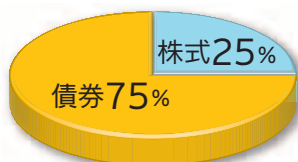
運用を始めるには何をしたらよいですか？

Point

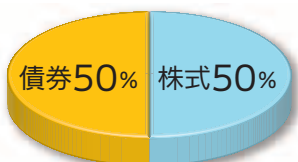
資産をどのように振り分けて運用するか
(資産配分といいます)を決めます

〈資産配分例のイメージ〉

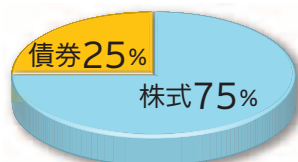
① 株式:25%
債券:75%



② 株式:50%
債券:50%

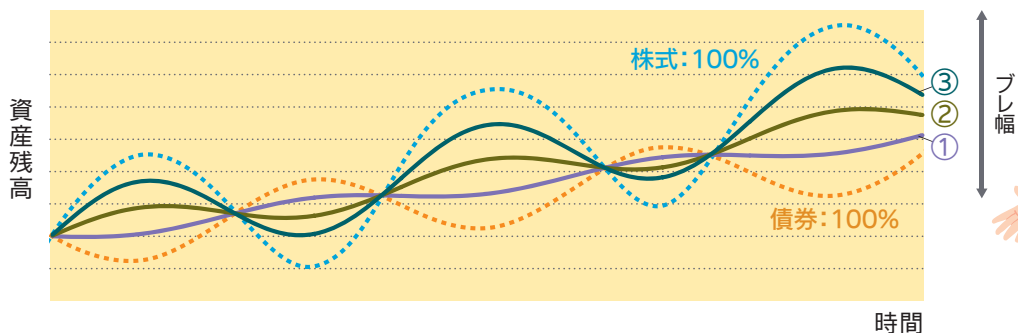


③ 株式:75%
債券:25%



大切なのは
資産配分ですね。

〈資産配分別にみた資産残高推移のイメージ図〉



資産の振り分け方によって、運用の結果には違いがでてきます。

まとめ

運用結果は資産配分により違いがあるので、
資産配分を考えることが大切です。



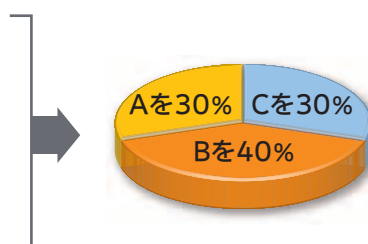
チェック

資産配分を決めるためには、分散投資の観点で、資産をどのような「選択」「割合」にするか等を考えていくことになります。また、その際に各資産の特徴等を考慮すれば、より効果的な分散投資となります。

▶「選択」する資産を考える



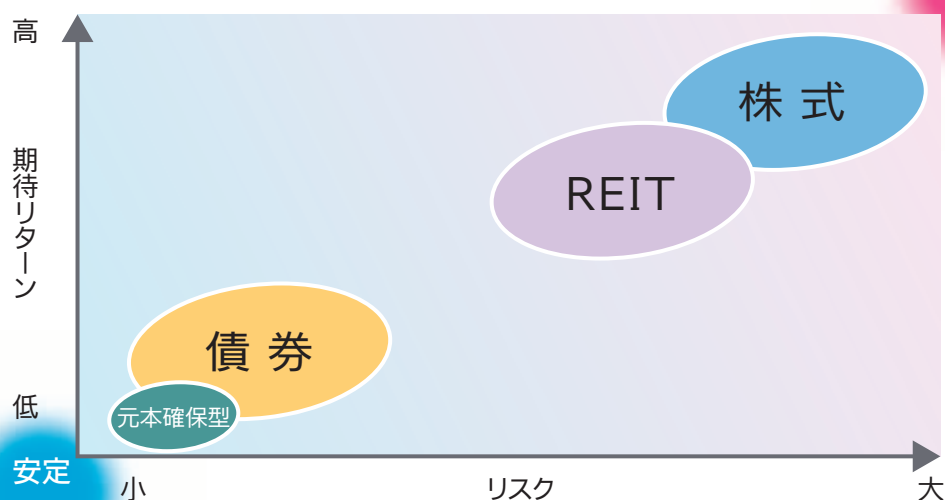
▶資産の「割合」を考える



振り分けて運用する資産には どのようなものがありますか？

Point 元本確保型と株式・債券等があります

■資産によってリスク・リターンの大きさは異なります。



積極
運用

これらの資産で
運用します。

同じ資産でも、国内資産よりも為替変動リスク等の分、
外国資産の方がリスクが大きくなる傾向があります。

加入された制度では、株式や債券を直接購入せず、株式や債券に投資を行う
投資信託を利用します。



4章

資産
配分の
決定

まとめ

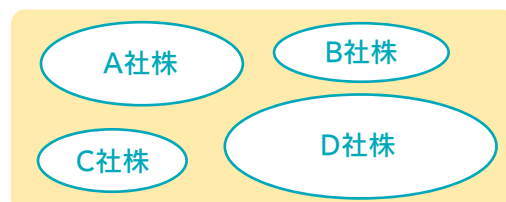
振り分けて運用する資産には、リスク・リターンの異なる
元本確保型・株式・債券等があります。



ヒント

- 一般に投資信託は、複数の銘柄に投資します。投資対象を分散するため、個々の銘柄が持つ固有のリスクを抑える効果（分散投資の効果）があると言われています。
- 投資信託の中には、株式や債券といった種類の異なる資産を組み合わせる「バランス」と呼ばれるものもあります。

投資信託の資産構成のイメージ



どのように 資産配分を考えればよいですか？

Point ご自身の運用方針(考え方)を確認します

①目標リターンから考える

運用の目標として自分はどのくらいのリターン(収益)を目指したいか？

②リスク許容度から考える

自分はどのくらいのリスクまでを受け入れることができるか？

リスクに対する考え方、リスクを許容できる度合い等をリスク許容度といいます。

リスク許容度を考える要素は一つではありません。



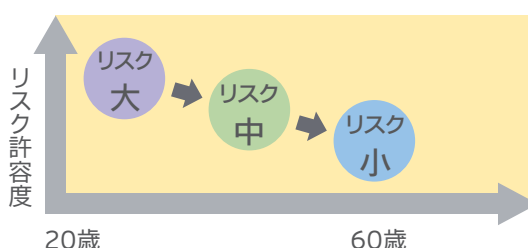
自分の目標や考え方をしっかり確認しましょう。

まとめ

資産配分を考えるために、
様々な要素をもとにご自身の運用方針を確認します。

チェック

リスク許容度を考えるときに、運用期間(年齢)は重要な要素です。若年層は老後まで時間があるため、比較的风险がとりやすくなります。ある程度リスクをとっても長期投資により安定したリターンが期待できるからです。一方で、老後を間近に控える高齢層では、リスクを抑えるといった考え方が一般的です。



具体的に

資産配分を考える方法がありますか？①

Point

資産配分チェックシートを使って、
ご自身の考え方(タイプ)を見つけることができます

資産配分チェックシート

資産をどのように振り分けて運用するか(資産配分)を決めるためのシートです。
ご自身の運用に関する考え方(タイプ)を見つけることができます。
●詳しくはテキスト「運用の世界へようこそ」4.5章をご覧ください。

資産配分のタイプ

あなたの資産配分はどのタイプでしょうか？
Q1～Q5の質問について選択肢から回答を1つ選び、ポイントを合計してください。

質問	回答	ポイント
Q1 あなたの年代は次のどれですか？ 運用期間	20歳以下 30歳代 40歳代 50歳以上	40 30 20 10
Q2 確定拠出年金で積立した資産を何に使いますか？ 将来の収支見直し	趣味や旅行など余暇の資金 決めていない 今後の生活費 住宅ローン等、借入金の返済	20 15 10 5
Q3 確定拠出年金以外に老後資金の準備はしていますか？ 年金以外の資産	準備できている 準備中 何もしていない	15 10 5
Q4 株式・投資信託などの運用経験はありますか？ 運用経験	運用経験はある 運用経験はないが関心はある 運用経験はない	15 10 5
Q5 運用に関してどの考え方に一番近いですか？ リスクに対する考え方	リスクが大きすぎて、積極的に高い収益を期待したい 適度なリスクをとって、適度な収益を期待したい 大きなリスクは取らないが、少しは収益を期待したい 増やすことよりも減らさないことを優先したい	20 15 10 5

合計ポイントからあなたの資産配分のタイプを見つけてみましょう。

運用タイプ	タイプ	ポイント
積極運用	タイプ A	95～110 ポイント
	タイプ B	80～90 ポイント
	タイプ C	65～75 ポイント
	タイプ D	50～60 ポイント
	タイプ E	35～45 ポイント
安定運用	タイプ F	30 ポイント

資産配分は裏面へ

積極運用

安定運用

タイプ A

95～110 ポイント

タイプ B

80～90 ポイント

タイプ C

65～75 ポイント

タイプ D

50～60 ポイント

タイプ E

35～45 ポイント

タイプ F

30 ポイント

資産配分の参考例は裏面にあります。

まとめ

資産配分チェックシートは、
ご自身の運用を考える第一歩です。



ヒント

上記の結果、
例えばA・Fになる方は
右記のような
回答をした場合です。

積極運用

安定運用

タイプ A

タイプ B

タイプ C

タイプ D

タイプ E

タイプ F

●20歳代以下

●確定拠出年金の使いみちは余暇の資金 など

●50歳代以上

●確定拠出年金以外に老後資金の準備は何もしていない など

次ページへ

4章

資産配分の決定

4章

資産配分の決定

資産配分の考え方

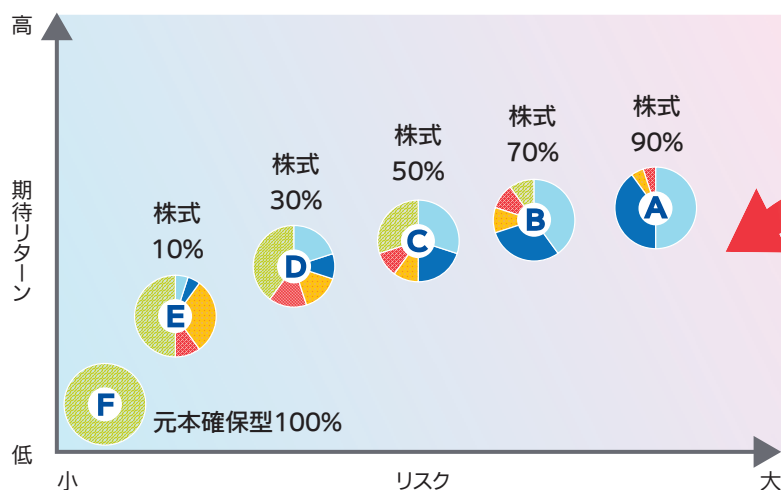
具体的に

資産配分を考える方法がありますか？②

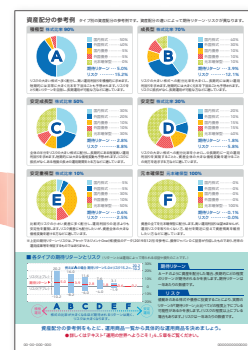
Point

資産配分チェックシートの結果、ご自身の運用方針に合った資産配分の参考例がわかります

■ 資産配分によるリスクと期待リターンの違い(イメージ)



■ 資産配分チェックシート(裏面)



ご自身の運用方針にあった資産配分を行きましょう。

一般に、元本確保型や債券に比べて株式の方が期待リターンは高く、リスクも大きくなります。リスク許容度や目標リターンを考えて、どのように元本確保型・債券・株式に振り分けるのかを考えます。

※この資産配分の参考例は、一つの考え方を提示するものです。実際の資産配分は、ご自身の責任において決定してください。

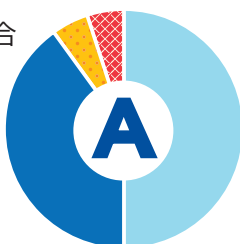
まとめ

チェックシートの資産配分の参考例をもとに、ご自身の資産配分を考え決定します。

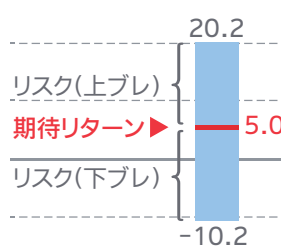


ヒント

<例>Aの場合



国内株式	50%
外国株式	40%
国内債券	5%
外国債券	5%
元本確保型	0%
期待リターン	5.0%
リスク	15.2%



期待リターン

長期的に期待できるリターンの平均値

リスク

リターンの上下のブレ幅